

平成27年6月30日

第9期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）

貸借対照表及び個別注記表

株式会社 阪急フーズ

貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	2,977,511	(負債の部)	177,871
流動資産	2,822,200	流動負債	177,871
現金及び預金	7,775	買掛金	102,961
売掛金	201,074	未払金	25,448
商品及び製品	125,890	未払費用	10,352
仕掛品	9,630	未払消費税等	5,088
原材料	658,131	未払法人税等	25,538
貯蔵品	1,118	預り金	1,137
前払費用	2,635	賞与引当金	7,346
繰延税金資産	5,245		
短期貸付金	1,782,052	(純資産の部)	2,799,639
その他流動資産	28,843	株主資本	2,799,639
貸倒引当金	△199	資本金	10,000
		資本剰余金	2,433,552
固定資産	155,311	資本準備金	1,000
有形固定資産	105,834	その他資本剰余金	2,432,552
建物	15,148	利益剰余金	356,086
建物附属設備	15,693	利益準備金	4,389
構築物	51	その他利益剰余金	351,697
機械及び装置	36,228	繰越利益剰余金	351,697
器具及び備品	9,159		
土地	28,365		
建設仮勘定	1,188		
無形固定資産	4,957		
ソフトウェア	2,157		
施設利用権	2,799		
投資その他の資産	44,519		
関係会社株式	25,000		
長期前払費用	359		
差入保証金	16,668		
繰延税金資産	917		
その他投資	1,574		
合 計	2,977,511	合 計	2,977,511

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び 関連会社株式	移動平均法
-------------------	-------

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産
評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

原材料	総平均法
-----	------

仕掛品	総平均法
-----	------

製品	総平均法
----	------

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産	定額法
--------	-----

無形固定資産	定額法
--------	-----

4. 引当金の計上基準

貸倒引当金	売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権につきましては、貸倒実績率を使用し、貸倒懸念債権等特定の債権につきましては、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。	15
-------	---	----

賞与引当金	従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
-------	---------------------------------------

役員退職慰労引当金	役員及び執行役員の退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。
-----------	--

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理	消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっております。 ただし、控除対象外消費税等は、発生事業年度の費用として処理しております。	15
-----------	---	----

当期純損益金額

当期純利益	51,802千円
-------	----------